



特集 今を未来につなぐ  
～平成30年度 所信と主要施策～

## にじいろの風船が青空に舞う

町立保育所「にじいろ保育園」と子育て支援センター「ぼれっと」の開所式が、4月5日におこなわれました。初年度となる今年は、137人の子どもたちが入園。式典では関係者がテープカットで施設のオープンを祝い、その後参加者全員が手にした約500個の風船が一斉に解放され、青空に虹をかけるように風に乗って飛んでいきました。

平成30年

4

No.686

## 平成30年度 ～所信と主要施策～

# 今を未来につなぐ

大江町議会第1回定例会が開かれ、今年度の町政を方向付ける平成30年度の当初予算などが決定しました。  
4月5日に開所式を迎えた「にじいろ保育園」の運営をはじめ、町の将来へ向けた取り組みが多く盛り込まれた今年度の主要施策。渡邊町長の町政運営に関する所信とともに、その概要をお伝えします。

### 所 信 表 明

日本人の平均寿命は、女性87歳、男性81歳を越えました。平均寿命84歳を支える日本の社会力は、戦後70年余を経て完成に近づいてはいますが、すべての人が幸福を実感するには至っていないとの見方があります。個人には寿命があっても、社会には寿命があつてはいけません。健康で天寿を全うしたいという万人の思いを支える社会は、大事に丁寧に手を掛け、持続可能なように創つていかなければ、個人の幸せも成り立ち

ません。日本の「まち・ひと・しごと」の長寿命化」は、現世の「ひと」に課せられた社会的、歴史的な大仕事でしょう。

大江町の誕生から今年度で59年、来年度には60年を迎えます。10年をひと区切りと考えると、10年を6回繰り返してきたこととなります。生活基盤の整備や教育環境の充実などの実践は、多くの「変化」を「物と人」に生じさせてきました。人が成しえたこととは思えない「重さ・深み・広がり」をもった変容は、個人の関わりと、家族・集落・地域・

町が一丸となった「チームワーク」が成したものであることは間違いありません。町民の生活の中に今も見える「今日の変化を明日の希望へ」とする精神文化のゆえんでしょう。先人の歩みは大江町の子どもたちの中に確かに生き続けています。

左沢小学校、本郷東小学校の児童から、町の「共生教育」の一環として、米とリンゴを栽培し販売した売上代金を、東日本大震災の被災者に差し上げたという申し出がありました。児童たちは少なくとも7年前を忘れてはいなかったし、被災後の

艱難かんなんと辛苦を背負った方々に心を寄せていました。児童を取り巻く「大江町社会」に東日本震災の被災者を「我が事」とする心がなければ、児童の心に「共生」の二文字が生じるはずがありません。児童のおこないは町民全員の、そして町の誇りといえます。

役場庁舎にエレベーターが完成し、3階建ての庁舎はすべての階が1階のフロアと同様に使えるようになりました。今年度は庁舎内の空間構成を見直し、町民が快適に庁舎を利用できるように若手職員による検討委員

会を立ち上げています。庁舎の耐震工事を間に挟んで、完成まで10年を要しましたが、「役場にエレベーターを」という10年前からの「町民の希望と夢」がなければ、実現できなかったのは確かです。

新しい保育園が完成しました。保育園統合には20年余前の方針を引き継がせていただきました。立地条件・コスト・交通便利・環境……とりわけ若い保護者の考え方を参考にしながら、新しい完成の運びとなりました。新たな社会福祉法人「峻嶺会」のもと、必ずや町民の期待に添えるような保育がおこなわれると確信しています。行政・保護者・町民ともどもの保育参加で盛り上げていきたいものです。

主要地方道大江西川線、町道である藤田堂屋敷線、小漆川巨海院線、舟唄碑元屋敷線、林道沢口道海線などの道路網の整備、観光に繋ぐ古寺案内センターと駐車場、まちなか交流館のリフォーム、左沢から古寺まで次代に渡す環境整備を期した年度を目指します。

大江町の2018年は、この1、2年で迎えた年ではなく、平成30年度の予算編成はこの1年だけのため、の予算でもありません。先人諸氏が

# まち・ひと・しごと

## 長寿命化を目指して

大江町長

渡邊 兵吾

時流を読み解きながら、時宜に合わせた最適なチョイスとして町づくり事業を段取りし、積み重ね継続してきたことは確かです。その一方、ベストチョイスの「段取り・積み重ね」の中には、時間の経過によるいわゆる「経年劣化」の事案も多くなっています。先人も時の予算の編成にあらゆることを勘定に入れたい、と思つたに違いありませんが、あえて将来の「段取り・積み上げ」のためにそうしてこなかったし、安定・安心・持続可能を基礎基本としてきたから、今日の大江町があると確信します。「まち・ひと・しごと」に「重さ・深さ・広さ・明るさ・楽しさ」を据えられる「長寿命化」実践の年度を志向したいものです。



# 1 Section まちづくり 人口増加・地域活性化対策を強化

**平** 成27年度に策定した「大江町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、地方創生の柱である人を呼び込むための積極的な施策をこれまで以上に推し進め、人口増加対策や産業の活性化対策などに引き続き注力します。

また、平成31年を目標年次とする第9次大江町総合計画の締めくくりとして、残り2年間でこれまで創りあげてきた基本理念「ここに暮らす喜びをみんなが実感できる町」の集大成となるようまちづくりを進めていきます。

**◎人口増加対策・空き家利活用**  
住人口対策としての分譲宅地については、若い世代が購入しやすい住宅団地を新たに本郷東小学校区内に造成し、人口増加対策や少子化対策、ひいては地域活性化への強力な施策としてスピード感を持って進めます。

また、婚活支援対策として、結婚新生活支援事業や婚活コーディネート事業などを継続し、出会いから結婚までの継続的な支援を図っていきます。

空き家の利活用については、新たに策定した「空き家等対策計画」を着実に実行するため、「空き家バンク」を充実させるほか、従来からのリフォームなどに対する支援に、新たに空き地利用に対する支援を加え空き家などのいっそうの利活用を促進します。

**◎地域活性化・公共交通**  
地域おこし活動などを支援する「未来へつなぐ元気活動支援事業」については、事業の制度やこれまでの取り組みなどの情報発信に努め、認知度を高めていきます。

町内各区の地域活動を促進するための集落活性化交付金については、各区が積極的に地域の課題を掘り起こし、その克服に向けた地域づくり計画を策定し実行できるよう、町職員による地域の魅力見つけ隊の活動と連携していきます。

重要文化的景観の保存と利活用による交流人口の拡大と地域活性化を目指し、その拠点施設として「まちなか交流館」を整備しました。5月末のオープンに向けて準備を進めていくとともに、交流、観光、賑わい

## 平成30年度 主要施策

「ここに暮らす喜びを  
みんなが実感できる町」  
の集大成に向けて



創出の中心施設として活用し、商店街や地域の活力の創造に取り組んでいきます。

交通弱者などの交通手段として欠かせない町営バスやデマンドタクシーについては、より利用者の立場に立った運行体制となるよう関係団体と連携し改善を図ります。町営バスについては、高齢者などの通院対策などとして、新たに白田医院前からふらんす大江前を停留所に追加するなど、さらなる利便性の向上に努めていきます。

## 2 Section 農林業 果樹産地づくり・新規就農者支援の充実

### ◎水田・果樹・やまがた地鶏

**米**の生産数量目標の廃止や、それに伴う直接支払交付金の廃止など、平成30年度から国の米政策が大きく変わります。高品質・高収益の米作りと合わせ、主食用米以外の作物による水田活用（転作）を大江町地域農業再生協議会と一体となつて取り組んでいきます。

本町の主力農産物として高品質な果樹生産がおこなわれており、市場の評価も高く、消費者からの人気も高まっています。生産者とともに特

### ◎ふるさと納税

**平**成29年度は、ふるさと納税の魅力ある返礼品を拡充した結果、寄付額が目標としていた1億円を突破するなど、順調な伸びを示しています。

引き続き、返礼品提供事業者と協力し、新たな特産品の開発や組み合わせなどを研究しながら魅力ある返礼品を取り揃えるとともに、町特産品の販路拡大に結び付け、地域経済の活性化に繋がるよう積極的に事業を推進します。

産化を進めてきたすももについて、新たな品種のPRや生産拡大を図り「大江のすもも」のブランド化に努めます。

町の特産品としてブランド化を目指している「大江町産やまがた地鶏」については、需要の増加に対応する生産拡大を図り、販路の拡大と合わせ一体的に取り組んでいきます。

### ◎新規就農者支援・有畜鳥獣対策

**新**規就農者の誕生は、本町農業の活性化と振興に大きな役割を果たしています。大江町就農研修

## まちづくり



### 空き家・空き地の利活用 695万円

空き家リフォームなどに対する支援に加え、新たに空き地利用に対する支援を実施します。「空き家バンク」の充実も図り、空き家の利活用を推進していきます。



### 新住宅団地造成に着手 5,080万円

本郷東小学校区内に、若い世代が購入しやすい低価格で質の高い住宅団地を整備します。今年度は、測量設計、用地取得をおこなう予定です。

### 主な事業

事業名	事業費(万円)	事業名	事業費(万円)
集落活性化支援交付金	1,000	景観形成事業	318
ふるさとまちづくり寄付	16,129	地域公共交通運行事業	1,853
未来へつなぐ元気活動支援事業	403	地域おこし協力隊活用事業	1,928

生受入協議会（OSINの会）や関係機関と連携しながら、新規就農者を受け入れ、支援する取り組みを進めていきます。あわせて、林業振興策と結び付けた新規就農者支援住宅の建設を引き続き実施し、より有効に利用していただくため、入居資格などの見直しを図ります。また、旧ひばり保育園を共同作業所として改修整備し、新規就農者の営農支援を進めます。

有害鳥獣による農作物被害が年々増加しており、特にイノシシによる被害は深刻さを増しています。電気柵設置に対する補助など、被害防止のための取り組みを実施します。

### ◎林業・地籍調査

**県**では、豊かな森林資源を活用する「やまがた森林ノミクス」を推進しており、本町でも大江町森林づくり協議会を組織して優良な町産西山杉の生産・販売に取り組んでいます。さらに、西山杉利活用

推進コンソーシアムによる広域的な取り組み、町単独事業による森林施業の集約化や利用間伐、作業道整備などを引き続き推進し、林業と関連産業の振興に努めます。県代行林道開設工事として着工された林道沢口道海線については、県と一体となって早期完成を目指します。

所有者が管理できない森林の管理を、意欲と能力のある林業経営者や市町村に委ねることができると新たな森林管理システムが、平成31年度から始まる予定です。森林組合などと連携して、実施に向けた検討・準備を進めていきます。

地籍調査については、平成29年度末の現地調査の進捗率が99パーセントであり、残すところわずかとなっています。平成30年度で調査を終了すべく、残りの大字柳川および古寺地内の大字貫見のほか、町の飛地を含む1・72平方キロメートルの調査を実施します。

## 3 Section 商工労働・観光

### ◎雇用・商工業活性化

**町** 内産業の活性化施策と雇用対策について、今後も国の経済

### 朝日連峰の魅力を発信

政策や経済動向を注視し、商工会などと力を合わせて進めていきます。

雇用に関しては、町内企業による

## 農業・林業



### 新規就農者住宅などを整備 3,800万円

林業振興策と結び付け西山杉を活用した大江町型住宅1棟を整備するとともに、新規就農者が共同で使用できる作業所を整備し営農を支援します。



### 農機具の購入を支援 440万円

町内で新規に就農する方や、農地を守っている農業者などが、農業を営んでいくための農業用機械などを購入する費用を助成します。

### 主な事業

事業名	事業費(万円)	事業名	事業費(万円)
農村地域防災減災事業	1,105	農業次世代人材投資事業	3,099
機構集積支援事業	259	鳥獣被害対策事業	173
林道整備事業	920	やまがた地鶏振興事業	700

町民の正規採用への助成金を継続し、雇用の安定化に努めます。

商業については、新たに若者に対する起業支援制度を創設します。また、商工会を中心とした特産品づくりとおおえブランドを推進する取り組みを継続して支援します。

◎観光

**本** 町では90年以上の歴史を誇る「水郷大江夏まつり大会」や、昨年復活した「神通峡まつり」など年間を通して数多くのイベントを実施していますが、さらなる誘客拡大と観光産業活性化に努めていきます。

また、「重要文化的景観のまち」の魅力を生かして、旅行会社などとの連携による左沢のまち歩き観光や農業体験などを組み合わせ新たな

ツアアのほか、山里交流館での宿泊体験、柳川温泉での保養、さらには神通峡の散策など、観光資源を活用した、本町ならではの着地型観光を積極的に推進します。

日本百名山に数えられる朝日連峰登山の人氣は高く、登山シーズンの休日は非常に混雑しています。こうした状況を解決し町の観光地として定着を図るため、古寺地内に駐車場の整備を進めます。また、「朝日連峰古寺案内センター（仮称）」を整備し、朝日連峰の魅力発信、万が一の遭難救助の前線基地、自然学習の場、宿泊所、休憩所としての役割を担う施設として、平成31年度のオープンを目指し、今年度建築工事に着手します。

4 Section 道路・住宅・水道

◎道路整備・住宅

**主** 要地方道大江西川線は本町の道路交通網の要であり、その整備は最優先課題のひとつです。貫見く沢口間に計画されている6つの橋梁のうち、平成28年末に2橋が完成しました。平成30年度は3号橋（琴ノ沢橋）の床版工と4号橋（巻淵橋）

次世代に向け生活環境整備

の下部工、地すべり対策のための月布川の付替え工事が予定されています。貫見く沢口間の早期完成とともに、田ノ沢く大井沢トンネル間の早期着手に向け、国と県にさらなる要望をおこなっていきます。

今後のまちづくりの重要な路線として整備を進めている町道藤田堂屋

道路・住宅など



安全・安心な道路づくり  
1億3,768万円

身近な生活道路の安全対策として、道路施設の総点検業務を実施するほか、グリーンベルトなどの交通安全施設を整備します。

商工労働・観光



若者の起業を応援  
1,000万円

町内の商工業の活性化を図るため、若者による事業計画性の高い起業および第二創業をサポートします。

主な事業

事業名	事業費(万円)
住宅環境整備事業	711
合併浄化槽設置事業	1,208
橋梁維持補修事業	5,820

主な事業

事業名	事業費(万円)
古寺案内センター整備事業	4,622
商売繁盛創出支援事業	150
フルーツライン左沢線活用事業	1,160

## 5 Section

# 福祉・子育て・医療

### ◎高齢者福祉・介護

**高** 齢者に対し住み慣れた地域で医療・介護・生活支援を一体的に提供できる地域包括支援システムの構築に向けて、社会福祉協議会では、訪問介護（ホームヘルプ）・居宅介護支援（ケアプラン）事業を4月から総合福祉施設らふらんす大江に移管することになりました。これにより、らふらんす大江からは地域包括ケアシステムの中核施設とし

### 高齢者・子育ての充実

ての機能を、社会福祉協議会からは介護予防の推進機関としての役割を担っていただき、町でも高齢者を支える地域の力を支援します。介護保険の給付費は近年増加の一途をたどっており、団塊の世代が75歳に到達する平成37年には、給付費のさらなる増加が予想されます。このため第7期介護保険事業計画に基づき、今後も各種サービスの提供と健全な事業運営に努めていきます。

敷線は、町営西原住宅から町道左沢小見線との交差点までの区間が完成する予定であり、整備計画の終点となる町道諏訪堂中山線の交差点まで460メートルの用地調査をおこない、早期完成を目指します。

また、身近な生活道路である町道の整備と維持管理に万全を期し、冬期除排雪の充実に努めます。さらに橋梁の維持修繕のため、小新地内「小牧橋」、十八才地内「大久保橋」、小清地内「小清1号橋」の床版防水工事を実施します。

公営住宅の需要が多くなっていることから、若い世代の定住促進と高

齢者などの居住の安定に向け、新たな公営住宅建設のための用地買収と造成工事を実施します。

### ◎水道事業

**村** 山広域水道からの受水費改定を受け、今年度からの町の水道料金については、高齢者世帯に多い基本料金のみを世帯に配慮し、メーター使用料を全加入者から徴収しないこととして料金の引き下げを図ります。また、沢口橋橋梁添架管

工事や、柳川加圧ポンプ新設工事、町道藤田堂屋敷線道路改良工事に伴う配水管の布設替え工事などを実施してまいります。

## 福祉・子育て・医療



### 高齢者などの通院を支援 221万円

後期高齢者などが安心して医療機関を受診できるよう、白田医院前を町営バス停留所に追加するとともに、町外医療機関への通院費の一部助成を開始します。



### 母子保健を充実 940万円

妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行うために、「子育て世代包括支援センター」を新設し、母子保健サービスの向上を図ります。

### 主な事業

事業名	事業費(万円)	事業名	事業費(万円)
子育て支援事業	1,022	地域医療対策事業	236
放課後児童健全育成事業	1,896	障害者福祉事業	18,340
子育て支援医療費	2,985	健康増進事業	2,088

◎保育・子育て支援

**4** 月から新たに「にじいろ保育園」を開園しました。指定管理者である社会福祉法人峻嶺会を支援しながら、子育て支援センター「ぱれっと」と併せ、自然に囲まれた広々とした保育環境の中で、保護者や地域の方々と一体となって保育事業を展開します。また、低年齢保育、延長保育、一時預かり、短期入所、夜間預かりなどの多様な保育ニーズに対して、民間事業者と連携しながら対応していきます。さらに、引き続き子育て世帯の経済的な負担軽減に努め、2つの放課後児童クラブを支援していきます。

◎健康づくり・医療

**喫** 緊の課題である地域医療の充実に向けて、新たに医療確保対策委員会（仮称）を立ち上げ、町民のための医療体制の構築を目指すとともに、高齢者などの町外医療機関への通院費の一部を助成します。

6 Section **教育振興** 給食費を支援し学習環境を整備

◎学校教育

**小** 中学校の教育に関して、平成32年度から小学校の教育課程

母子保健については、新たに新生児の聴覚検査費用への助成を実施します。また、妊娠前から子育て期に至るまでの総合的な相談支援を提供するワンストップ拠点として、新たに「子育て世代包括支援センター」を設置します。

疾病の早期発見・早期治療のための各種健康診査に、新たに30歳代を対象とした若年層健診を加え、健康相談、生活習慣病予防教室などによる健康教育を引き続き実施します。

国民健康保険は、平成30年度から県と町が共同で運営します。県は財政運営の責任主体としての役割を担い、町はこれまでどおり資格管理、保険給付、保健事業のほか、保険料率の決定や賦課・徴収を担うこととなります。また、国民健康保険税の収納確保に努めるとともに、被保険者資格適用の適正化、健康増進・生活習慣病予防などに関する啓発や各種保健事業を展開していきます。

に本格的に外国語教育が導入されることから、外国語指導員を新たに配置し外国語教育の向上を図ります。

**教育振興**



**より親しまれる図書館に  
880万円**

平成28年7月の開館以来、多くの町民から利用されている図書館。蔵書の充実や、図書館フェアの開催により、さらなる読書活動の推進を図ります。



**中学生の給食支援を拡充  
1,529万円**

これまで小学校6年生と中学校3年生を対象にしていた町による給食費の全額支援を中学生全体に拡大するとともに、中学校において米飯給食を開始します。

**主な事業**

事業名	事業費(万円)	事業名	事業費(万円)
文化的景観保護推進事業	4,268	教育活動推進事業(外国語学習推進など)	2,586
放課後子どもプラン推進事業	234	左沢高校支援事業	180
生涯学習推進事業	726	体育施設等整備事業	3,300

中学校では英語検定試験を3年生全員が受けられるよう助成をするほか、面接試験に対応するための補習授業を新たにおこない、小中学校一貫となるように外国語学習を充実させます。

学習環境の整備として、小学校にタブレット型パソコンを導入します。また、中学校ではこれまで2年生を対象にしていた新聞活用教育を全学年1学級1新聞とし、さらに3年生を対象に放課後を利用して地域未来塾を開催し、将来に向けた学力の充実を図ります。また、小学校のトイレの洋式化など施設の整備を計画的に進めていきます。

中学校の給食は、大江中学校開学以来おかずのみの給食としてきましたが、平成30年度からは米飯給食の提供もおこない完全給食とします。また、食育とふるさと教育の観点から、中学生自らが自分たちの食べる米作り体験を通し、食と農、ひいては命や生業に関心を持つ子どもの育成を目指します。給食費については、小学校6年生および中学校3年生を対象に、地域創生の取り組み期間中、全額を町で負担していますが、平成30年度は小学6年生と中学生全員を対象に拡大し米飯分も含めて無償化

します。

左沢高校は本町唯一の高等学校であり、小中高連携、まちづくりの観点からも大切な学校です。生徒の進学就職に向けたスキルアップとなる英語検定や簿記検定などの資格取得に対する支援を新たにおこないます。さらに、左沢高校は今年創立70周年を迎えるため、その記念事業に対しても支援します。

### ◎社会教育

**昨**年度、生涯学習事業をリニューアルし、おおい町民大学「ぶくらすカレッジ」として各種講座を実践しています。多くの町民から参加をいただいています。さらに内容に磨きをかけたぶくらすカレッジを展開していきます。また、町立図書館の充実と利用促進を図り、ブックスタート事業としての幼児への絵本プレゼントや読み聞かせに加え、町のオリジナル絵本づくりに取り組んでいきます。

国選定重要文化的景観については、重要な構成要素に特定している家屋の保存補修工事を引き続きおこなうほか、案内看板の整備に向けてワークショップを開催し検討を進めます。左沢楯山城跡については、史跡としての価値の保存を前提としたうえ

## 危機管理



### 防災機能の強化 1,067万円

有事に備えた防災備蓄倉庫を新たに2棟整備するほか、Jアラートの新型受信システムを導入することで、情報伝達手段の一層の迅速化を図ります。

## 教育振興



### 小学校のトイレを洋式化 2,376万円

小学校トイレの老朽化対策および環境衛生面の向上のため、洋式トイレに改修を進めます。平成30年度は本郷東小学校のトイレを改修します。

### 主な事業

事業名	事業費(万円)
消防施設整備事業	792
消防団員服装整備事業	143
交通安全対策事業	593

### 主な事業

事業名	事業費(万円)
幼稚園関係助成事業	917
小中学校教育振興事業	1,941
体育振興事業	715

で、第1期整備として桶山公園から八幡座までの散策路を整備する予定です。今年度は工事施工に向けた発掘調査をおこないます。

◎体育振興

**気** 軽におこなえる生涯スポーツを推進し、各種スポーツ大会の開催など、健康と元気を創る生涯スポーツを展開します。特に、今年度は4年に一度の町民大運動会を、人と地域の結びつきを深める場とし

てとらえ、楽しく参加できるように開催します。

陸上競技など全国大会に出場し輝かしい成績をおさめる町内のアスリートが増えています。関係団体と連携して選手育成を図り、出場選手を人的物的両面から応援していきます。また、よりよい環境のもとでスポーツができるよう、引き続き体育センターの屋根の塗装などをおこなうほか、野球場照明設備を改修します。

7 Section **危機管理** 万が一に備え防災対策と予防啓発

◎災害対策・消防団

**羽** 越水害から50年の節目となった平成29年度も、全国各地で豪雨災害などの多くの災害が発生しました。また、北朝鮮から発射された弾道ミサイルが、2度にわたって北海道上空を通過するなどの事態も続いています。本町でも起こりうる災害などに対し、防災備蓄倉庫の整備をはじめ、引き続き防災・減災対策を推進します。

昨年4月から運用を開始した防災行政無線は、今後とも万が一の際の緊急情報伝達のほか、火災予防や交通安全の啓発などにも有効に活用し

ていきます。また、全国瞬時警報システム（Jアラート）の受信機を新型に更新します。本システムがこれまで以上に安定し、緊急情報が防災行政無線を通じて迅速かつ確実に伝達されることが期待できます。

3年目を迎える女性消防団員の広がりや活躍が目に見えるようになってきました。引き続き、若い世代が活動しやすい環境を整え、地域と連携しながら団員の確保に努めていきます。また、災害現場での消防団員の安全を確保するため、服装および装備品の充実を図り、全消防団員分のヘルメットを更新していきます。

**議会**

town council

3月定例会

平成30年第1回大江町議会定例会が、3月2日から13日の会期で開かれました。今定例会では平成30年度当初予算や平成29年度の各会計の補正予算のほか、条例改正案などについて審議され、原案どおり承認・可決されました。そのうち、主なものについてご紹介します。

**行政報告**

**大江町総合計画短期行動計画の策定**

このたび、第9次大江町総合計画の目標年次である平成31年度までの短期行動計画を策定しました。

短い期間ですが、新たな計画に基づいて各種事業を推進し、町民の目線に立ったまちづくり、行政運営をおこなっていきます。

**大江町空き家等対策計画の策定**

平成27年5月に「空き家等対策の推進に関する特別措置法」（空家法）

が施行されたことに伴い、本町でも空き家対策を総合的に進めるために策定しました。

計画に基づく対策として、啓発や相談会の実施により所有者の意識向上と管理不全空き家の発生予防を図り、町が危険な空き家と判断した物件については、空家法に定める措置を実施します。また、空き家バンクを活用を促進するほか、国や県における支援を活用し、空き家の利活用を進めていきます。

**指定管理**

町立にじいろ保育園の指定管理者を社会福祉法人峻嶺会（理事長・富樫是行）、大江町山里交流館の指定管理者をさわらび会（代表理事・今野壽子）、大江町まちなか交流館の指定管理者をポート（理事長・小國利宏）にそれぞれ指定することが承認されました。

**補正予算**

平成29年度一般会計予算について、歳入歳出予算の総額にそれぞれ4730万円を追加し、補正後の予算総額は54億2090万円となりました。

平成30年度  
一般会計当初予算

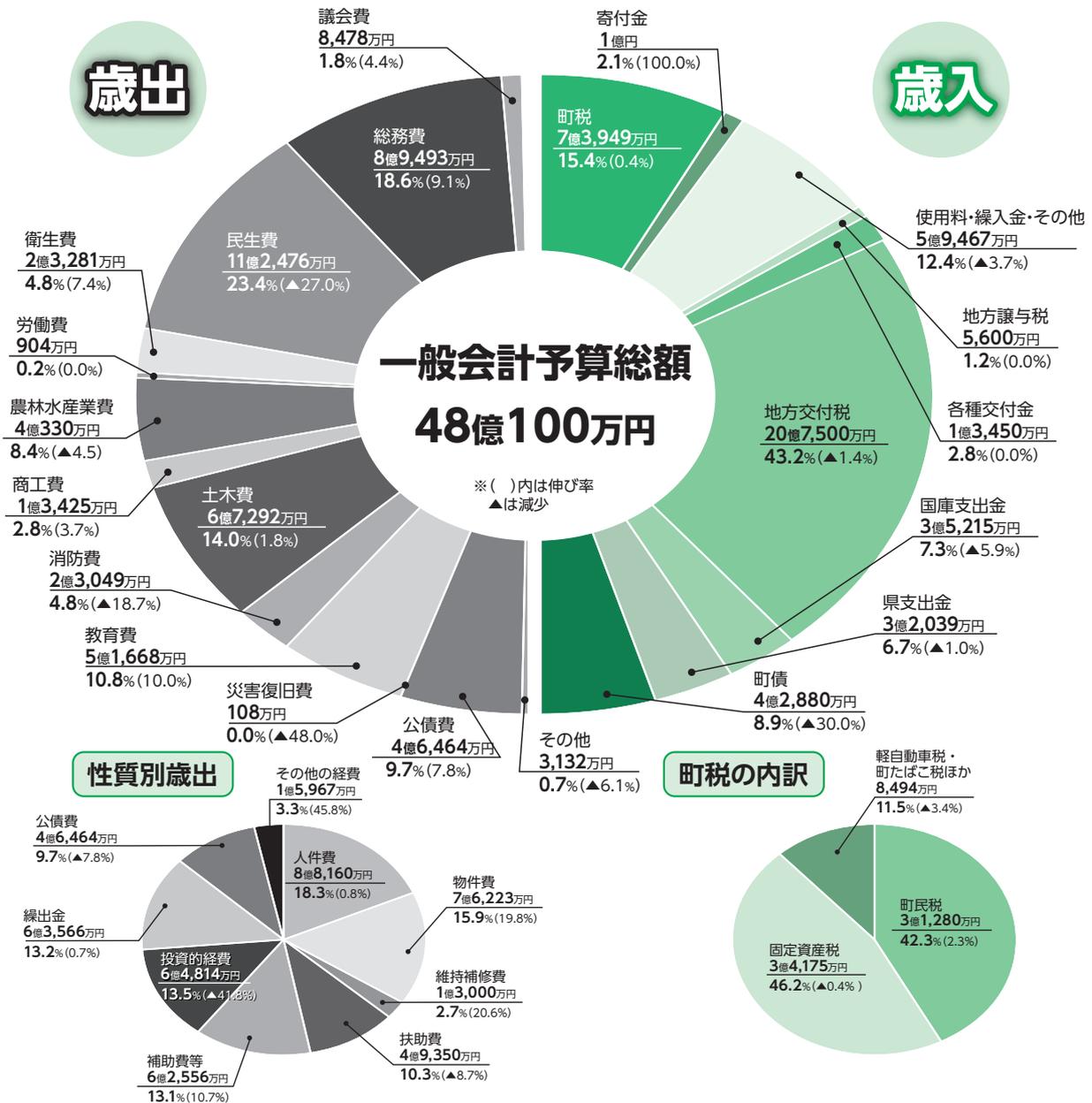
# 48億100万円

平成30年度当初予算が、3月の町議会定例会で可決されました。一般会計の総額は48億100万円で、前年度当初予算額と比較すると4.2%の減となりました。

歳出面での特徴は、朝日連峰古寺案内センター整備事業などを実施するものの、前年度に町立保育園整備事業や役場庁舎エレベーター整備事業などの大規模事業が完了したことで投資的経費が大きく減少。一方、中学校給食費無料化の拡充や若者起業支援事業補助金の創設などもあり補助費などは増加となっています。

歳入面では、投資的経費などに係る国庫支出金の減少はありますが、ふるさと納税の伸びに伴い寄付金が増加しています。

特別会計を含む各会計の予算概要を紹介します。(予算は千円単位ですが、四捨五入により万円単位としています)







**松田清隆 新副町長**  
(1区)

まちづくりには、町職員と町民の皆さんの協力関係が重要です。町民の方々の思いをしっかりと受け止め、町政に反映させていきたいと考えています。



**鈴木廣志 前副町長**  
(小漆川)

町職員時代も含め45年間町政に関わってきました。町職員の皆さんには、今後も熱い気持ちを持って町民の幸せのために力を振り絞ってもらいたいです。

## 1 ■新体制で町政をけん引 ～松田新副町長就任～

2期8年にわたって副町長を務め、渡邊町長を支えて町政の中心的役割を担ってきた鈴木廣志さんが、3月31日の任期満了をもって退任することになりました。後任の副町長として、前総務課長の松田清隆さんが議会3月定例会で選任されました。

松田副町長は昭和52年に町職員となって以来、教育文化課長、産業振興課長を歴任。その後、昨年度まで6年間にわたって町の行政事務の要である総務課長を務めてきました。今後、渡邊町長、犬飼教育長とともに、新しい体制で町政のかじ取りを担っていくことになります。

## 2 ■私の絵がバスになったよ！ ～町営バス外装リニューアル～

ワゴンタイプの大江町営バスの外装が、ラッピングによって生まれ変わりました。バスの車体を彩る絵を描いたのは、さくら保育園、わかば保育園、大江幼稚園の年長児です。園児たちは町の花・魚・鳥であるあじさい・サクラマス・ヤマセミのほか、灯ろう流し花火大会やヤマガタダイカイギュウなどの町の名物をクレヨンで描き、その絵をもとにしてラッピングのデザインが出来上がりました。

町営バスは3月6日に絵を描いた年長児たちのいる保育園と幼稚園を訪問し、完成した外装がお披露目されました。「作者」である園児たちは、車体にデザインされた絵を指さして「私の描いた絵だ！」と大喜びしていました。装い新たになったバスは同日から運行を開始しており、園児たちの絵は今も毎日町内各所を駆け巡っています。



▲自然を通じた活動について発表する村中さん

## 3 ■新たなアプローチで地域おこし ～地域おこし協力隊活動報告会～

本町の地域おこし協力隊員による平成29年度の活動報告会が、3月23日に中央公民館で開かれました。昨年度は佐々木隆馬さん、野木桃子さん、村中亮竜さん、坂口祥太さんの4名の隊員が地域おこし活動に従事。それぞれの専門分野を生かした活動内容を発表しました。

昨年度から隊員となった村中さんは、山里交流館を中心に自然や生き物のガイドをおこない、町の自然の魅力をPR。坂口さんは町のウェブサイトの新デザインを考案するとともに、SNSを駆使した町の魅力発信の方法を模索してきました。来場した方からも質問や意見が多く寄せられ、活発な報告会となりました。

## 4 ■進化を続ける大江のすもも ～すももオリジナル品種戦略～

本町では、新品種開発をはじめとするすもものブランド戦略が進んでいます。JAさがえ西村山すもも部会長の渡辺誠一さん（塩野平）を中心に、ブランド品種の「赤李」「緑李」「光李」をはじめ、収穫期が異なる約15の品種を開発。これにより、10月下旬まで切れ目ない出荷が可能となりました。また、就農研修生受入協議会（OSINの会）による若者定住と、すもも栽培面積の増加も実現しています。

こうしたことが評価され、JAさがえ西村山すもも部会が平成29年度の山形県ベストアグリ賞において東北農政局長賞を受賞しました。今後の本町のすもも人氣がさらに拡大していくことが期待されます。



## 5 ■町の文化を彩り豊かに描く ～文化的景観絵画コンクール表彰式～

平成29年度大江町文化的景観絵画コンクールの表彰式が、3月25日に中央公民館で開かれました。小学校5年生から中学3年生までの応募総数125点の中から、最優秀賞5点をはじめ50点の作品が入賞しました。

### 最優秀賞受賞者 ※敬称略

- ★小学校5年生の部 森友季菜（左沢小学校）
- ★小学校6年生の部 林希桜里（本郷東小学校）
- ★中学校1年生の部 古城 駈（大江中学校）
- ★中学校2年生の部 伊藤 希（大江中学校）
- ★中学校3年生の部 大谷侑睦（大江中学校）

## 平成30年度新規採用職員を紹介します



### 長い間お疲れ様でした

- 阿部 利一（建設水道課） ○鈴木 祐子（わかば保育園）
- 清野 節子（さくら保育園） ○渡邊 涼子（左沢小学校）

※3月31日付で退職された方々です。

〈写真前列左から〉

### 芳賀萌夏（諏訪原）

町民の皆さんの笑顔がたくさん増やせるようにがんばります。

### 松浦有恵（9区）

常に笑顔で、前向きな姿勢を大切にしながらよりよい町になるよう励みます。

### 齋藤恵美（用）

町民の皆さんに信頼される職員を目指し、魅力ある町づくりに尽力します。

〈写真後列左から〉

### 鈴木湧太（藤田）

アクティブに活動するのが大好きです。町職員として精いっぱいがんばります。

### 今野清彦（月が丘）

これまでの経験を生かして町に貢献できるように一生懸命がんばります。

### 阿部正人（葛沢）

生まれ育った町で働けることを嬉しく思います。信頼される職員を目指します。



## 2/25 みりよく 町の「味力」を多くの人に

「おおえブランド推進機構（代表・庄司孝さん・7区）」が認定する「おおえブランド」の成果発表会が、2月25日に中央公民館で開かれました。この発表会では、平成28年・29年に開発され、おおえブランドに認定された商品を展示。来場者による試食とアンケート評価がおこなわれました。

この日発表されたのは、やまがた地鶏や青苧など、町ならではの食材やキャラクターを生かした食品5品目。来場者はそれぞれの商品を味わいながら、パッケージの見た目や価格なども含めて真剣な表情で吟味していました。



## 2/25 少しの勇気で世界が広がる

大江ロータリークラブが主催する「Let's Enjoy with English!」が、2月25日に中央公民館で開催されました。このイベントは、子どもから大人まで幅広く英語に親んでもらおうと企画されたもので、参加者が会場内の模擬店で英語を使って買い物をするという形式でおこなわれました。

会場には、子どもたちや親子連れなどたくさんの方が来場。原則「日本語禁止」ということもあってはじめは戸惑いながらも、お菓子屋さんやカフェ、手品用品店などの多彩なお店を回りながら英会話を楽しんでいました。



本郷東小学校卒業式

## 3/16・18 春の光の中で新たな旅立ち

春の訪れを思わせる暖かな日が続く中、3月16日に大江中学校、18日には左沢小学校と本郷東小学校で卒業証書授与式がおこなわれました。

このうち本郷東小学校では、男女合わせて20人の児童が卒業。式典の中で、卒業生は学校生活の思い出と別れの言葉を在校生に贈り、全校児童で最後の校歌斉唱をおこないました。卒業生は昨年、青苧についての学習をおこない、刈り取りや茎からの繊維取り、アンギン織りなどを体験。思い出深い青苧の和紙で作られた卒業証書を手し、6年間を過ごした母校を後にしていきました。



## 3/27 涙とともに長い歴史に幕

町立保育園の卒園式が、3月27日におこなわれました。このうち、町立保育園の統合に伴い3月末で閉園することになったさくら保育園では、23人の園児が卒園。昭和34年1月の開園以来、約60年の歴史の中で約2500人が巣立っていったさくら保育園の最後の卒園児となりました。

会場の花道には卒園児が青苧を材料で作った照明飾りが並べられ、ステージ上には園児たちが園舎を描いた貼り絵が掲示されました。卒園児たちは清野節子園長から受け取った保育証書を、感謝の言葉とともに保護者に手渡していました。



金子家



清野家



岡田家



歴史民俗資料館



ひなまつりコンサート

## 3/21~4/1 文化が花開くひなの季節

3月下旬は町内でひなまつりにまつわるイベントが多く開かれました。

21日には「音の文化祭 ひなまつりコンサート」がふれあい会館で開催されました。町内で音楽活動をおこなっている団体などが一堂に集うこのコンサートも、今年で13回目。今回は13の団体などが出演し、伝統音楽から歌謡曲までさまざまなジャンルの音楽を演奏しました。最後は吹奏楽合同演奏をバックに大江中学校、左沢高校の生徒が手話を交えて合唱を披露し、会場の皆さんも参加しての大合唱で幕を閉じました。

29日から4月1日にかけては、町内各会場で「大江のひなまつり」が催されました。今年も金子家、清野家、岡田家、歴史民俗資料館の4会場とお休み処錦庵で、多彩なひな人形や舟運文化がもたらした貴重な品々が展示され、町内外から多くの方が訪れました。県外から来られた方は「どの会場のおひなさまも素晴らしくて、一番が決められないです」と話されていました。

また、ひなまつり初日の29日には中央通り商店街でひな市がおこなわれ、屋台などが立ち並んだほか、各商店の自慢のおひなさまが店先に飾られ、訪れた人々の目を楽しませていました。



左沢ひな市

# お知らせ

## Information

### 大江町消防団春季消防演習

- ◆日時／4月22日(日) 13時～
- ◆場所／左沢小学校グラウンドおよび左沢内町・横町通り
- ◆内容／消防操法、一斉放水、分列行進など

※当日は、左沢地区の交通規制があります。ご協力をお願いします。また春季火災予防運動に伴い、4月16日(月)から22日(日)にかけて、7時および20時に防災行政無線によるサイレン吹鳴がおこなわれます。

#### 問 総務課危機管理係

☎(62) 2187  
または、消防署大江分署  
☎(62) 3120

### 大江町企業人材スキルアップ支援事業補助金のご案内

町内に事業所を有する事業主の方が、人材育成のために事業主または従業員が事業に必要な資格や免許、技能の習得を図る場合に、事業主が負担する経費を補助します。

◆補助対象者／町内に事業所を有する事業主（資格習得などの対象者は事業主または当該事業所に勤務する従業員）

◆補助対象資格技能／事業を経営するうえで必要とする資格技能、習得することにより事業所に有意義であると認められる資格技能

※過去に本補助金の交付を受けた資格技能を同じ方が再び習得しようとする場合は補助対象となりません。

◆補助対象経費／事業主が負担する受験料、受講料

◆補助金額／補助対象経費の2分の1以内で10万円を限度

※補助金の支給を受けるには、受験、受講の申し込み後に交付を申請し交付決定を受け、資格などの習得後に実績報告をする必要があります。

#### 問 政策推進課起業推進係

☎(62) 2139

### 農機具の購入を補助します

◆補助対象者／新規就農者、認定農業者、農業で生計を立てている60歳以上の農業者

◆対象農機具／①乗用草刈機、②高所作業車、③くろぬり機（アタッチメント含む）、④散布機（アタッチ

## 電動レンタサイクル 「ふらっちゃ」 をご利用ください

JR左沢線などの利用促進のため、電動アシスト付き自転車をお江町交流ステーションにて無料で貸出します。急な坂道でも平ら（フラット）な道のようにスイスイ進み、町内のお店や名所を「フラット」立ち寄りたりできる電動アシスト付自転車「ふらっとチャリンコ」（愛称・ふらっちゃ）を、ぜひ一度体験してみてください。



（ヘルスメイト）を養成しています。仲間とともに学び、身近なところから健康を考えてみませんか。料理に興味がある男性の方も大歓迎です。

- ◆貸出期間／4月16日(月)～11月15日(木)
  - ◆貸出時間／10時～17時まで（1回の貸出時間は3時間）
  - ◆貸出場所／交流ステーション
  - ◆貸出可能台数／5台（すべて26インチサイズ）
  - ◆利用料金／無料
- 問 政策推進課総合戦略推進係 ☎(62) 2118

メント含む）、⑤電動剪定鋏、⑥ウッドチップパー

※新規就農者に限り、①～⑥以外の農機具補助も可能です。

◆補助率／新規就農者は購入金額のうち2分の1を補助（上限50万円）、認定農業者および60歳以上の農業者は購入金額のうち3分の1を補助（上限30万円）

#### 問 農林課農政係 ☎(62) 2115

### 楽しく調理実習をしながら食生活を見直してみませんか？

食を通して地域で健康づくりを推進していただく食生活改善推進員

◆対象／町内にお住まいの方で食生活や健康づくりに興味のある方。性別、年齢は問いません。

※会場内で託児をおこないますので、お子さん連れでもご参加いただけます。託児の必要な方は事前にお申込みください。

◆日程／①開講式5月24日(木)、②講話と調理実習5月31日(木)、6月27日(水)、7月26日(木)、9月4日(火)、③減塩みそ作り10月19日(金)、



様々な分野で活躍され、表彰された町民の方々を紹介します

平成29年度山形県卓越技能者等表彰  
技能競技大会選手育成優良事業所

優秀な技能者や職業能力開発に功労のあった個人、事業所などを表彰する「山形県卓越技能者等表彰」において、技能競技大会選手育成優良事業所として、トータルヘアカメトコ(代表・松田強三さん・7区)が表彰されました。

トータルヘアカメトコでは、明治時代に創業して以来、理容師を目指す若者を長年にわたって育成してきました。技能五輪全国大会にもこれまで多くの若手が出場し、優秀な成績を収めています。チーフとして育成にあたる松田通さんは「お客さんも応援してくださるので、若い人たちの励みになっています。今後も多くの若者に、信頼度のある仕事ができるようになってほしいです」と話していました。

トータルヘア カメトコ  
チーフ 松田 通さん(7区)



④修了式12月4日(火)  
※講座を修了した方には、食生活改善推進協議会に入会していただいています。

◆時間/10時~14時半(変更になる場合もあります)

◆会場/保健センターまたは中央公民館

◆参加費/無料(みそ作り希望者は別途参加費がかかります)

◆申込期限/5月15日(火)  
健康福祉課保健衛生係

☎(62)2114

山形県縦断駅伝競走大会開催

4月27日(金)~29日(日)にかけて、今年も県縦断駅伝競走大会が開催され、28日(土)には本町を通過します。寒河江西村山チームが出場しますので、力走する選手へ大きな声援をお願いします。

◆大江中継所/町民駐車場前(左沢橋前)

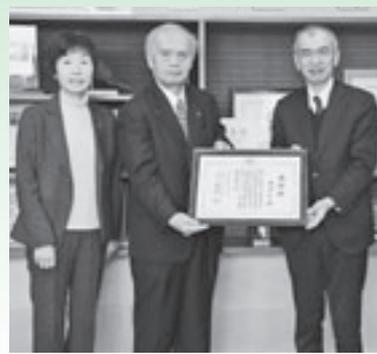
◆通過予定日時/4月28日(土)12時6分

善意いただきました



東北電力株式会社と株式会社ユアテックより、町へ街路灯5灯を寄附いただきました。街路灯は町内各所に設置し、町民生活の安全性向上のために活用させていただきます。

感謝状をいただきました



総務省の行政相談業務と行政相談委員活動への本町の協力に対し、総務省山形行政監視行政相談センターより感謝状をいただきました。

編集後記

限られた時間、限られた紙面、限られた枚数の写真の中で、少しでも多くの時間を皆さんにお伝えしていきたいです。  
(伊藤智治)

特集や見開きの組み写真でない限り、ひとつの記事で載せられる写真の枚数は限られています。3月はひなまつりにちなんだイベントがたくさんあり、どの写真を掲載したら良いか非常に悩みました。写真を撮るといふ行為は、よく瞬間を切り取る」といった表現で言い表されます。カメラのシャッターが開いている時間は、多くの場合数十分の1から数百分の1秒。人間の感覚では認識できない、まさに一瞬の光を平面上に焼き付けた写真は、一見すると静止しているようにしか見えません。しかし、優れた写真は「動きがある」「躍動感があふれている」という評価がなされます。人は写真を見るとき、切り取られた時間の前後の「動き」や「流れ」を、無意識のうちに感じ取ろうとしているのではないのでしょうか。文章の行間、映画のコマとコマの間のように、シャッターが開く一瞬に入りきれずに弾かれた時間をも取り込む——そんな写真が撮れば、見えないはずの動きや躍動感を表現できるのかもしれない。広報を担当して、今年度で4年目。

# 思い出の まいぞうひん My蔵品

No.30

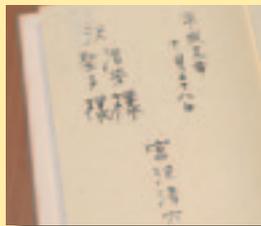
皆さんの心に残る思い出の品を、それにまつわるエピソードとともにご紹介します。



▲沢さん夫妻が結婚記念に制作したオルゴールと、宮澤賢治の弟・清六氏から譲り受けた書籍



▲オルゴールの裏面



▲清六氏のサイン。芳浩さんの名前に「レ点」がついています

平成元年に私たちが結婚した際に、何か記念になるものが欲しいと考え、オリジナルのオルゴールを作ることになりました。当時はインターネットもなかったので、雑誌の情報から仙台市の岩切にある熊野洞さんという工房を訪ね、いろいろと相談にのっていただき写真のような木製のオルゴールが出来上がりました。曲目には妻の好きな宮澤賢治の「星めぐりの歌」と「種山ヶ原」を選び、オルゴール用に編曲してもらいました。個人で使用するとはいえ、賢治の曲を勝手に使っていいものか……そこで岩手県花巻市にある宮澤賢治記念館の職員の方のお骨折りで、当時まだお元気だった宮澤賢治の弟さんの宮沢清六さん宅にごあいさつに行くことになりました。

緊張しきりでお渡ししたオルゴールを快く受け取っていただき、楽しくお話をさせていただいて、帰り際に手元の蔵書のなかから好きなものをと、頂いたのが写真の「宮澤賢治と星」という本です。

こぼれ話で、清六さんからその本にサインしていただいたのですが、私の名前の順序を間違えてしまい、清六さんが気さくに笑いながら、返り点をつけてくださったのが印象的でした。そんな思い出の深い一品です。

(2区 沢 芳浩)

★皆さんの思い出の詰まった「宝物」はありませんか？ 懐かしい写真、長年愛用している道具、旅先で購入した記念の品など、なんでも結構です。総務課情報システム係 ☎(62) 2187まで、ぜひお知らせください。

## 戸籍のまど

2月21日～3月20日受付分

### お誕生おめでとう

区名	氏名	性別	父母名
深沢	小山 千咲	女	祐太・美姫
12区	明石 真咲樹	男	晋・麻里
6区	伊藤 優真	男	達敏・恵理奈
伏熊	佐藤 遥翔	男	秀征・茜
美郷	鴨田 茉詩	女	直樹・真緒

### ご冥福を祈ります

区名	氏名	年齢
伏熊	佐竹 麗子	(83)
市の沢	鈴木 幸子	(85)
若原	最上アヤ子	(74)
10区	阿部 博	(92)
9区	後藤 みつ	(87)
古寺	佐藤 三男	(85)
市の沢	横山 賢一	(87)
深沢	菊地 ゆみ子	(68)
1区	菊地 スミ	(93)
蛭水	渡邊 きみよ	(99)
5区	安藤 とよせ	(85)
小見	松嶋 アサノ	(87)
諏訪原	大場 マサエ	(95)
三合田	柏倉 亮一	(91)



### 人口と世帯(前月比)

町の人口	8,322人(-41)
男	4,131人(-5)
女	4,191人(-36)
世帯数	2,921戸(-6)

平成30年4月1日現在

※掲載を希望しない場合は、届け出の際にお申し出ください。